

平成28年7月29日

各 位

会社名 株式会社スターフライヤー
 代表者名 代表取締役社長執行役員 松石 禎己
 (コード番号：9206 東証第二部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 柴田 隆
 (TEL 093-555-4500)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月28日に公表した平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	33,300	1,300	1,300	510	178.0
今回修正予想(B)	33,300	2,700	2,500	1,400	488.6
増 減 額 (B - A)	—	1,400	1,200	890	
増 減 率 (%)	—	107.7	92.3	174.5	
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	34,451	2,032	2,650	2,558	892.9

2. 修正の理由

当第1四半期における営業収入につきましては、レベニューマネジメントの強化や運賃種別「スターユース」の販売促進、「サンクス10thアニバーサリーセール」・「MILLION STARSキャンペーン」などの営業強化に取り組んだことに加え、高水準の就航率を維持した結果、現在のところ堅調に推移しております。一方、費用面につきましては、当初想定レートと比較し原油価格は緩やかに上昇しているものの、想定を超える円高が進行したことから、燃油費や外貨建ての費用が大きく抑えられております。これらの結果として、営業利益、経常利益、当期純利益が増加する見込みであります。

このような当第1四半期の状況を踏まえ、通期の業績予想を見直した結果、営業利益、経常利益、当期純利益は、それぞれ当初想定を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、この業績予想の修正においては、為替レートは1米ドル110円、1ユーロ125円、原油価格レート（ドバイ）は52ドル/バレル相当の前提としております。

当社は、為替相場および原油価格相場によって業績が大きく影響を受けます。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

（1）原油価格相場

1バレル当たり1米ドルの変動により、第2四半期から第4四半期の9ヶ月間において燃油費に29百万円の影響を受ける可能性があります。

（2）為替相場

1米ドル当たり1円の変動により、第2四半期から第4四半期の9ヶ月間において燃油費、航空機材費等に52百万円の影響、経常利益段階では39百万円の影響を受ける可能性があります。

※ 上記の他にも、将来の航空機材の定期整備費用に備えるための定期整備引当金は米ドル建てで金額を見積っていることから、期末日レートの変動により、貸借対照表残高および定期整備引当金繰入額に影響を受ける可能性があります。

（注）上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上